

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7-11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

## 開校15年目での分会結成

# たまがわ高等支援が分会立ち上げ さらになかまの輪を大きく広げよう!



2020年3月23日に組合員の方と初めて顔合わせをし、たまがわ高等支援学校の分会を立ち上げました。たまがわ高等支援学校は玉川高校の跡地に新しく高等支援として開校し、2020年4月時点で開校15年となり今年度1年生を15期生として新しく迎えました。私は府立高校から赴任してきて今年度3年目となります。赴任してから驚いたことは本校の先生は新規で採用されて赴任される

そのため少し疑問に感じても声を上げずにいる若い先生が多かったです。また組合員はいたのですが活動ができていない状態が続いていました。このままでは職場環境が悪くなっていくと感じ、大障教本部に相談に乗ってもらいつつ、今回分会を立ち上げることができました。早速今年度から新規採用者向けに制度や組合の運動について紹介をする時間を作ることができ、新しいスタートをきることができたように感じます。職員の中には本校には組合がないと思っ

ている方も何人かいるのでこれから活動していき、子どもたちが楽しく学校生活を送り、私たち教職員が働きやすい職場になることを目標にがんばっていきたいと思います。  
(たまがわ高等支援学校分会 分会長 菅野友太)

分会長の菅野友太さん



## たまがわ高等支援学校分会

### 立ち上げ おめでとうございます!



たまがわ分会の立ち上げ、おめでとうございます。2010年4月に、泉南支援分会の土台となる佐野支援学校砂川校分会がスタートしました。分会員もわずか4名しかおらず、この先どうなることやらと不安ばかりでしたが、分会ニュースだけはひと月に1回発行しました。また分会があることで、当時の府障教ニュースや大教組の新聞も配布ができ、組合に加入しておられない職員の方にも、組合の活動をお知らせすることができました。そして、職場づくりとして大きかった点は、府障教青年部主催のソフトボール大会やバレーボール大会に、必死に人数を集めてぼろ負けするのですが、参加し続けました。このような取り組みの継続があって、今の泉南支援学校分会があるのかなと思います。たまがわ分会も、立ち上げ当初はしんどいことが多々あるとは思いますが、できることからコツコツ継続していくことが大切だと思います。お互いがんばりましょう!(泉南支援学校分会 奥野 健)

分会の立ち上げ、おめでとうございます!

私は、四條畷校分会と枚方支援学校分会の立ち上げに関わりましたが、開校にむけて前任校から準備ができたので、全く一から立ち上げられたのは大変だったと思います。初めは人数が少なくても、仲間がいるというのが心の支えでした。子どものこと、学校の環境や体制について、同じ思いで話せる人がいるのが励みになります。職場要求アンケートで多くの声が寄せられたときや、教育条件を少しずつ改善できたとき、分会を作ってよかったと思いました。

子どもたちのために、働きやすい職場にするために、一緒にがんばりましょう!(光陽支援学校分会 佐々木 起美子)

大障教ホームページアドレス <http://fc06331220171211.web2.blks.jp/> Eメール アドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp



新型コロナウイルス感染防止に関わる政府の自粛要請を受け、いち早く経済活動を止めたのは、ライブ・エンターテインメント界とスポーツ界でした。大手も小さな劇団も、倒産・解散覚悟で中止を決断し、のべ5千800万人の移動を止めたといわれています。その結果、3月末までの損害は450億円にのびました。スポーツも含めた損害は1750億円との推計もあります。

「タレント」「パフォーマー」と言えば、テレビでよく見る有名人を想像しますが、実は9割以上が無名の人たちです。普段はアルバイトで生活していますが、いつ声がかかるか分からないため定期的バイトはできません。そういう人たちが、やっとの思いでお金をつくって公演にこぎつけても、今回の自粛要請に添えたため、借金だけが残ることになりました。

ドイツでは、文化大臣がすぐにアーティストに向けて「皆さんを見殺しにしない」とメッセージを出し、文化分野での緊急支援措置を決めました。ドイツ在住の日本人ミュージシャンにも入金があったそうです。中国・台湾・シンガポールなどでも、世界中から素晴らしいものを集めようと、芸術・文化に手厚い国家予算がつけられています。

こうした国々に比べると、日本は国による支援が非常に貧しく、企業の協賛に頼らざるを得ない状況です。業績が悪化して協賛を受けられなければ、わずかな予算をやりくりするしかありません。先人が連綿とつないできた文化・芸能を絶やさないためにも、エンターテインメント界の団体は、政府や国会議員に「自粛要請には適切な補償を」と要請しています。

# 「教育に臨時はない」

## 臨時教職員の中部・近畿ブロック学習交流集会

とって貴重な機会となりました。

最後に来年度の開催が発表され、ここ大阪が3月に中部、近畿ブロックの開催府県となることが発表されました。

臨時教職員制度が少しずつ前進する中、「教育に臨時はない」を合言葉に更なる一歩になるよう力を尽くしていきます。

(東住吉支援学校分会 小島良平)

臨時教職員の中部、近畿ブロック学習交流集会が2020年1月25、26日に静岡でありました。大阪からは6人参加しました。私は、午前中は教育のつどい大阪に参加した後、夕方の交流会から参加しました。

1日目前半は、歓迎行事や基調報告などがあり、後半は、「えんたくん」(椅子に座って輪になった6、7人の膝の上に乗せた段ボールで出来た円形ボードにテーマにそった意見を書くグループワーク。詳しくは検索してください。)を用いてグループ交流がおこなわれました。顔と顔を見渡しなが

らに舌鼓をうちながら喜んで交流を深めました。2日目は5つの分科会に分かれ、臨時教職員制度の理不尽さや前進した各府県の情報交換、そして4月から始まる会計年度任用職員についての論議がおこなわれました。

私は、「臨時教員の生き方と実践」の分科会に参加しました。その中で、学級崩壊していた学級を立て直していく先生の実践や大学を卒業したばかりの先生が4月からいきなり何の研修も無いまま学級担任をしてきた話などがありました。どの

先生も大変な状況の中で、色々な試行錯誤(ある先生はマジックが得意で、マジックを披露することから子どもとの信頼関係作りの糸口にしていました。)をした子どもとの実践の話や聞くことができませんでした。その中で、「臨時教員の生き方」として

て、多くあがってきたのが「継続性」の問題でした。どんなに頑張っても3月には都合良く任用が動かされてしまう事実(時には無職になることも)が待っていて、その度に心を悩ませてしまうという話でした。また、一番忙しい時期におこなわれる

採用試験への憂鬱さの話も出るなど、解決には至らない議論を交わしました。2日間を通して、普段職場では実践の話や堂々としてきかない(時に「講師の癖に偉そうに」と冷たく言われる)こともあります。臨時教員

## 全国障害児学級・学校交流集会に参加して(感想その7)

### ぞうきんをどう絞る? あいさつの角度?

### 学校へ通えなかった子どもたちのことを

### 障害のある方と一緒に学びを深めた分科会

3日目教育フォーラム「子どもから出発する授業づくり・教育課程づくりの視点から学習指導要領を考える」に参加しました。学習指導要領の改訂で、各教科の学習を主体に考えていくというところがとりざたされる中、「本当に大切なのか?」というのが今回の話を聞いて思った。特に教材にあてはまらないような学習でも、いっしょに「うどんをつくる」「田植えをする」など必要なことはあるのに、技能

検定に出るからという理由でぞうきんをどうしぼるかや、あいさつの角度で点数をかえるなど、本当に学習指導要領で必要とされている変化に対応できる人づくりににはつながっていないように感じた。また、学習指導要領には法的拘束力で強行的規定と訓示的規定があるということを知り、とてもためになりました。

1日目全体会、養護学校義務制40年企画の三木先生(鳥取大)のお話を聞き、学校へ通うことができなかった子どもたちがいたことを忘れず、目の前にいる子どもたちと関わっていきたいと思いました。

2日目の分科会「青年期の課題と授業づくり・教育課程づくり」に参加しました。印象的だったのは、分科会に特別支援学校を卒業した後、支援学校の職員になった方や大学で福祉を学んでいる方がいらつしやつたことです。障害のある人への教育を受けた方が、私たちと同じ環境で働かれています。福祉を研究されていることを嬉しく思います。

今回は、その方々と同じ学習会で同じ空間を共有でき、これまで参加したどの学習会よりも障害のあるご本人を意識して学ぶことができました。それと同時に、生徒と日々関わる中で「自分のはたらきかけが自分本意ではなく、本当に彼らのためになるのか」ということを私たちは常に

考えなければならぬ、と感じました。障害者権利条約「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」をあらためて思い出し、深め、再確認する良い機会となりました。

(枚方支援学校分会 堀内万愛)



交流会後には、静岡おいし

交流では、静岡のおいし

交流では、静岡のおいし

交流では、静岡のおいし

交流では、静岡のおいし

交流では、静岡のおいし